

「居宅介護サービスの充実と在宅死亡割合の関係」
By 国立社会保障・人口問題研究所・泉田信行氏に対するコメント

2012/03/28

国立社会保障・人口問題研究所
社会保障基礎理論研究部・野口晴子

1. 本研究の意義

本研究は、今後十数年にわたって予想される多死社会において、高齢者を自宅で看取るための諸要因に対する定量的な分析を、全国規模の集計データを用いて行った、わが国で最初の研究である。手法的にも、データを二次医療圏ベースにパネル化し、地域固有の特性を固定効果として除去したこと、また、本研究の主要な変数である介護資源の充実度が内性的であると予想し、操作変数法によるバイアスの修正を行った点で、高く評価できる。居宅介護サービス従事者数の充実や今後の人口・世帯構造の変容が高齢者の看取りに有意に影響を与えるという、本研究から得られた実証的な結果は、今後の医療・介護・看護サービスに対する政策に対し、有益な基礎資料となるであろう。

2. 比較的 Major な comments

1. 本研究では、いわゆる、「誰にも看取られずひとりで亡くなるという孤独死のケースについて」は考察の対象外であるとされているが (p3 第 2 節 1 段落 line1-2)、本研究で用いたデータ上でどのように「孤独死」を識別したかが描写されていない。本研究の結果として、二次医療圏内における単身高齢世帯比率の自宅死亡率に対する効果が正となっているが、仮に「孤独死」を識別しているとする、この結果は若干奇異に感じる。また、図 1a)b) に示された男女別・年齢階級別自宅死亡割合は、「孤独死」を排除しているのか (あるいは、どのように「孤独死」を識別したのか)。

2. コメント#1 と関連し、世帯構造に関連して、主要な介護者として、「配偶者」と「嫁」の比率が高いことが本文中で述べられているが、「三世帯世帯比率」を説明変数として投入する必要はないか。個票データであれば、単身世帯、夫婦のみ世帯と一次同次となるだろうが、この場合は集計データなので、投入しても問題はないと考えられる。

2. (p7)3 段落 line4-8 : 従事者が複数種類のサービス提供を行う可能性を鑑み、従事者数を複数計算しないように、サービスごとに、専従者数、兼務者の常勤換算数、非常勤者の常勤換算数の合計を計算した、とあるが、サービスごとに計算することによって、なぜ重複が回避できるのかが、よく理解できない。

3. 本研究では、二次医療圏ごとの集計データをベースとした定量分析が行われているが、市区町村単位での分析としなかったことの **rationale** を書いた方が良いかもしれない。本研究が主として医療資源の自宅死亡率に与える効果に着目しているのであれば、二次医療圏の目的・意義を考慮すれば当然であろうが、市区町村が **manage** している介護資源が主要な論点となっているため、何らかの説明が必要と思われる。また、本研究ではなく、今後の研究として、市区町村別の集計データを用いた効果も検証されるとよいと思う。

5. コメント#4 の関連として、今後の研究のために、市区町村別データの場合は、介護資源を需要する患者の居住地選択ということが推定上の問題 (**selection bias** の可能性) となることも指摘しておく。

4. 本研究では、二次医療圏ごとに集計がされているので、市区町村の合併効果は吸収されている可能性が高いが、二次医療圏内において市区町村の合併が発生したかどうかについては検証する必要があるだろうか。市区町村の合併により、身の周りにある医療・介護資源に一定程度の変化があることが予想される。たとえば、単に合併の有無をダミー変数として投入するか、二次医療圏内の何%の市区町村が合併したか等の変数が考えられる。

5. 本研究の推定結果は、通常最小二乗法が、操作変数による内生性を調整した結果と比較して過小推計になっていることを示しているが、これはどういった要因によるものか。考察において、居宅介護サービス従事者数の増加が労働時間にマイナスの効果を与えている可能性について触れ、それが過大推計になった要因であることは指摘されているが、推定の構造上、なぜ回帰分析が過小推計になっているのかについては、触れられていない。

6. 第一段階の推計で、女性失業者数の居宅介護サービス職に対する効果についての議論が見当たらない。脚注、あるいは、**Appendix** でもよいので、第一段階の推定結果について触れるべき。

7. 図 1a)b) より、昨今の、65 歳以上自宅死亡割合に、男女・年齢階級別に差がないこともあり、必ずしも興味深い結果が得られるかどうかはわからないが、もし余裕があれば、表 4・表 5 の推計を、65 歳以上の男女・年齢階級別に回帰させてみると、個人の基本属性により、どういった要因が、自宅での死亡割合を規定しているのかについて観測できるかもしれない。

以上